

がんばる大洲企業

株式会社ブルーム・クラシック 愛媛テクノ工場

（世界に二つのオリジナル商品を目指して）

弊社は、化粧品を取り扱うブルーム・クラシックの製造部門として、平成21年に創設されました。ここで製造した商品は、主に全国のエステサロンへ出荷されます。

弊社では「エコ&ナチュラル」をコンセプトに、植物由来原料を主成分とした、肌にも自然にもやさしい生態適合化粧品の製造を心がけています。

工場創設の際には、全国を回り視察を行いました。長浜地域ほど水資源が豊富で自然環境の良、弊社のコンセプトに合った場所はありませんでした。

化粧品は肌に直接触れるものなので、製造の際にはエアシャワーの活用、各工程で用いた機器や器具の洗浄など、衛生面では人一倍



気をつけています。その他、毎月勉強会を開催し、社員のメンタル面の強化にも力を入れています。

現在、世界でも弊社しか取り扱うことのできないオーガニック化粧品（りんご物語スキンケアライン）を開発するなど、着実に実績や信頼を積み重ねています。

また、「見せる工場」をテーマに、見学ができる環境を充実させ、より身近で親しみある工場づくりに励んでいます。

今後も、時代に合った変化を追い求め、常に新しい分野への挑戦を続けていきたいです。

▽所在地 長浜町拓海6-131
 △電話 0933052
<http://www.bloomclassic.jp>

文化財



木造盤珪和尚坐像 1 軀
 大洲市指定有形文化財(彫刻)
 如法寺所有

富士山中にある奥旨軒と呼ばれる如法寺のお堂には、如法寺を開山した盤珪和尚(1622～1693)の木像が安置されています。

等身大よりやや細めに造られたとされるこの木像は、全高1m16cmで、台座に座り手には竹箆(指導に用いる竹製の杖)をもった姿をしています。

木像の太腿の裏側には、約35cm角の黒漆塗の板がはめ込まれ、奥旨軒の由来が刻まれています。これによると、この像は元禄5年(1692)奥旨軒造営の際に盤珪和尚が自作の像を安置したと記されていて、生前の姿を伝える像として大変貴重なものと言えます。

また、如法寺にはもう一軀の盤珪和尚の像が存在します。元禄10年(1697)に造られたもので、仏殿内に安置されていますが、現在は仏殿が修理中のため、大洲市立博物館で特別公開されています。

(昭和47年5月2日指定)

野鳥



ミゾゴイ (溝五位)
 コウノトリ目サギ科
 大きさ49cm

春になると、南方から渡って来る森林性のサギの仲間です。薄暗い所を好み、夜間に谷間の沢や林道などで生活しているため、人前に姿を現すことは滅多にありません。また、偶然出会ったとしても、首を真直ぐに伸ばして直立不動のポーズでじっとしているため、見逃すこともあります。

昔は人里近くで普通に見られる野鳥だったそうですが、現在はNT(準絶滅危惧種)に定められていて、手厚い保護活動が行なわれています。早朝や夜間に「ポー、ポー」と、ウシガエルに似た声で鳴いていることがあります。案外みなさんの知らない所で、ひっそりと暮らしているのかもしれない。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト⑧

¡Hola! (オラ。／こんにちは。)

今回は、ニカラグアの田舎（チナンデガ県北部の村、ロデオ・グランデ）の暮らしを紹介します。ここでは、クリスティーナさんご一家が、私を受け入れてくださいました。

夜、夕食をいただき、さあお風呂に…。しかし、この地域には水道水がありません。しかも、離れにある水浴び場は真っ暗ということで、中庭で勝手口の明かりを頼りに井戸水で体を洗います。風が吹く中、冷たい井戸水での入浴はちょっと大変でした。



クリスティーナさんご一家と



自然の恵みいっぱいの朝食

次の日、目が覚めると、外では近くに住む息子さんが薪割りをしていました。ガスもありますが、薪を使っただけの調理が主流のようです。トウモロコシの粉を練ってトルティージャを焼き、そしてでき上がった朝食が、左の写真です。

焼きたてのトルティージャにフリホーレス（小豆を煮たもの）。クリスティーナさんの農場で採れた牛乳から作ったクレマ（クリーム）。そして、庭の木から採ったばかりのオレンジで作ったジュース。自然の恵みいっぱいの朝食は格別でした。

時間はあっという間に過ぎ、別れの時が。“Gracias. (ありがとう。)” 素敵なお礼を言って帰路につきましたが、この言葉だけでは足りなかった気がします。未舗装の道路、井戸水での炊事・入浴、そして薪割り…。田舎の暮らしはちょっと大変。でも、温かい人たち、自然の恵みいっぱいの食事…。何ものにも替え難い大切なものが、そこにはありました。

大洲市消費生活センター通信

公的機関を名乗った不審な電話が市内でも…

最近、全国的に還付金詐欺の被害が再発していて、当センターでも、多くの相談が寄せられています。その中でも特に、ATMなどの操作に慣れていない高齢者からの相談が目立ちます。

その主な手口は、まず社会保険事務所や市役所などの職員を名乗る人が、医療費や保険料などの払い戻しのため、スーパーやコンビニエンスストアのATMへ行くとように促します。その後、フリーダイヤルなど指定した番号に電話をかけさせ、ATMを操作するよう指示します。その結果、気付かないうちに、他人の口座へ振り込まれていくというものです。

なかには暗証番号など口座情報を聞き出すものもあり、手口は日々複雑化しています。

被害にあわないために…

公的機関を名乗った電話の場合、いったん電話を切り、本音かどうか確認しましょう。その際、相手から聞いた電話番号ではな

く、電話帳などで自分が調べた電話番号へ連絡しましょう。

市役所などの公的機関が、医療費などの払い戻しをするためにATMへ行くようにお願いしたり、暗証番号を聞くことはありません。

一度支払いをしてしまうと、お金を取り戻すことは困難です。そのような不審な電話があった場合は、お金を支払う前に、警察署または消費生活センターへ相談しましょう。

また、日頃からの対策として、留守番電話機能を活用することも効果的です。

【問い合わせ先】

大洲市消費生活センター
☎ 1790

【相談受付時間】

午前9時～正午
午後1時～5時
※月曜日～金曜日（祝祭日除く。）



シリーズ・大洲市地域づくり表彰

平成24年度「大洲市地域づくり表彰」を受賞されたみなさん(3個人、11団体)を、シリーズでご紹介します。

【古野さんからのメッセージ】

植松なでしこ会は、平成16年に解散した婦人会に代わり、地域の女性団体を存続させるために結成されました。

現在、元婦人会メンバー10人を会員とし、地域のイベント(河辺ふれあいフェスタなど)に参加したり、地域の美化活動を行っています。また、会員の親睦を図るために、2年に1度親睦旅行を行っています。

これからも、地域に欠かすことのできない女性団体として、自分たちのやれることを頑張っていこうと思います。



地域づくりに貢献

植松なでしこ会

会長 古野 みつこ光子さん(植松)

【増田さんからのメッセージ】

櫛友会は現在、平成2年に設立した「櫛風会」の後身として、しょうぶ園の草引きや地域のイベントに積極的に参加するなど、年中を通して活動を行っています。

櫛友会でも、若者の入会が減少していますが、地元の老人会などと協力して、少しでも地域貢献ができるように頑張っています。

将来、子どもたちが「櫛生地区で育ってよかった」と思ってくれるような、そんな地域にしていきたいと思っています。



地域づくりに貢献

くしゆうかい櫛友会

会長 増田 ゆうじ勇志さん(櫛生)

【馬喰田さんからのメッセージ】

坂本すみれ会は、植松なでしこ会と同様に、解散した婦人会の元メンバーで結成されました。

現在は、11人の会員で地域のイベントや分館・自治会活動への参加、花だんの手入れなどを積極的に行っています。会員同士とても仲が良く、和やかな雰囲気での活動に取り組んでいます。

新しい会員の入会が少なく後継者不足に悩んでいますが、私たちにしかできないことを地道に続けていきたいと思っています。



地域づくりに貢献

坂本すみれ会

会長 馬喰田 てつこ哲子さん
(川上)



5月19日(日)

募集した 写真で一句 俳句会 ～龍馬脱藩の道フォト俳句会～

大洲市観光協会河辺支部が募集した、河辺龍馬脱藩フォトコンテストの写真を見て一句詠む「フォト俳句会」が、今年度から新しい試みとして、河辺ふるさとの宿で開催されました。

参加者の投句作は、写真の風情をよく読み取っていて、どれも素晴らしいものばかりでした。

今回の作品と写真は、9月30日まで河辺ふるさとの宿に展示される予定です。



5月14日(火)

一息ついて、落ち着いて ～肱川地区交通茶屋～

春の交通安全運動の一環として、大洲市交通安全協会肱川支部による交通茶屋が、国道197号線沿いで行われました。

当日は、大洲高校肱川分校の生徒20人が参加し、啓発物資と手作りクッキーなどを手渡し、ドライバーに安全運転を呼びかけました。

初夏の日差しが強く暑い日でしたが、生徒たちの「安全運転をお願いします」との呼びかけに、ドライバーも笑顔で応えていました。



5月24日(金)

小さな^{うしゅう}鵜匠の一仕事 ～ウのモニュメント飾り付け～

大洲夏の風物詩「うかい」の開催を前に、ウのモニュメントの飾り付けが、JR伊予大洲駅構内で行われました。

当日は、鵜匠に扮した11人の喜多保育所園児が招かれ、みんな楽しそうに色塗りを行い、モニュメントを完成させました。

その後、本物の鵜が登場し、園児たちは普段見ることのない鵜に興味津々の様子で、時折歓声を上げていました。



5月15日(水)

主役は猫である ～『岩合光昭^{いわごうみつあき}の世界ネコ歩き』の番組ロケ～

NHK BSプレミアムで放送されている『岩合光昭の世界ネコ歩き』の番組ロケが、長浜町にある青島で行われました。

この番組は、猫を題材にしたドキュメンタリー番組で、動物写真家である岩合光昭氏の協力の下、世界各国の猫をとりあげて放送されています。

国内では今回が初めてのロケで、青島をはじめ、香川県の女木島や佐柳島で撮影が行われました。

撮影された番組は、7月下旬に放送予定です。